

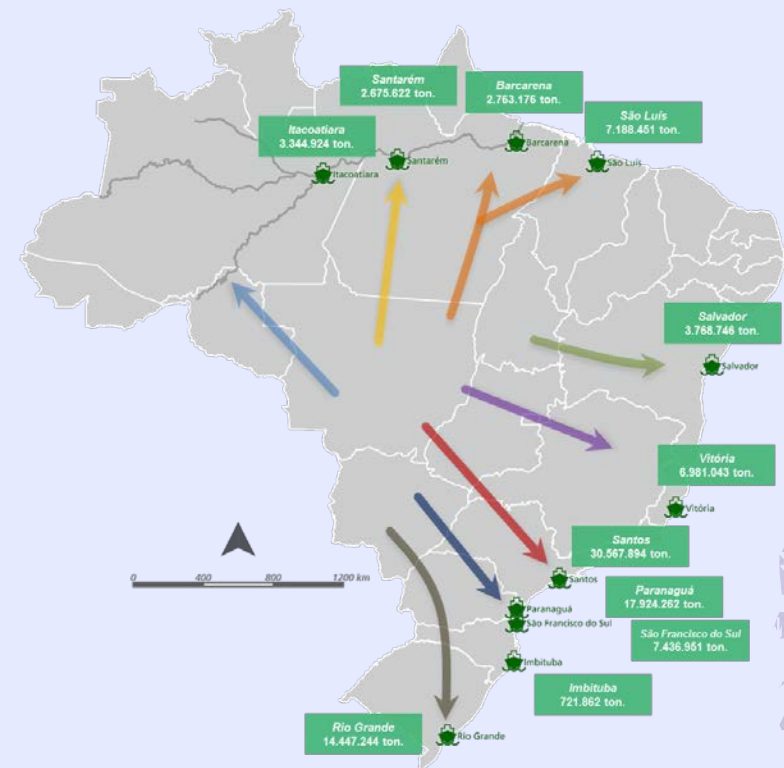
平成28年度フードバリューチェーン構築推進事業
ブラジルにおける展開支援委託事業

2017年2月23日

中央開発株式会社

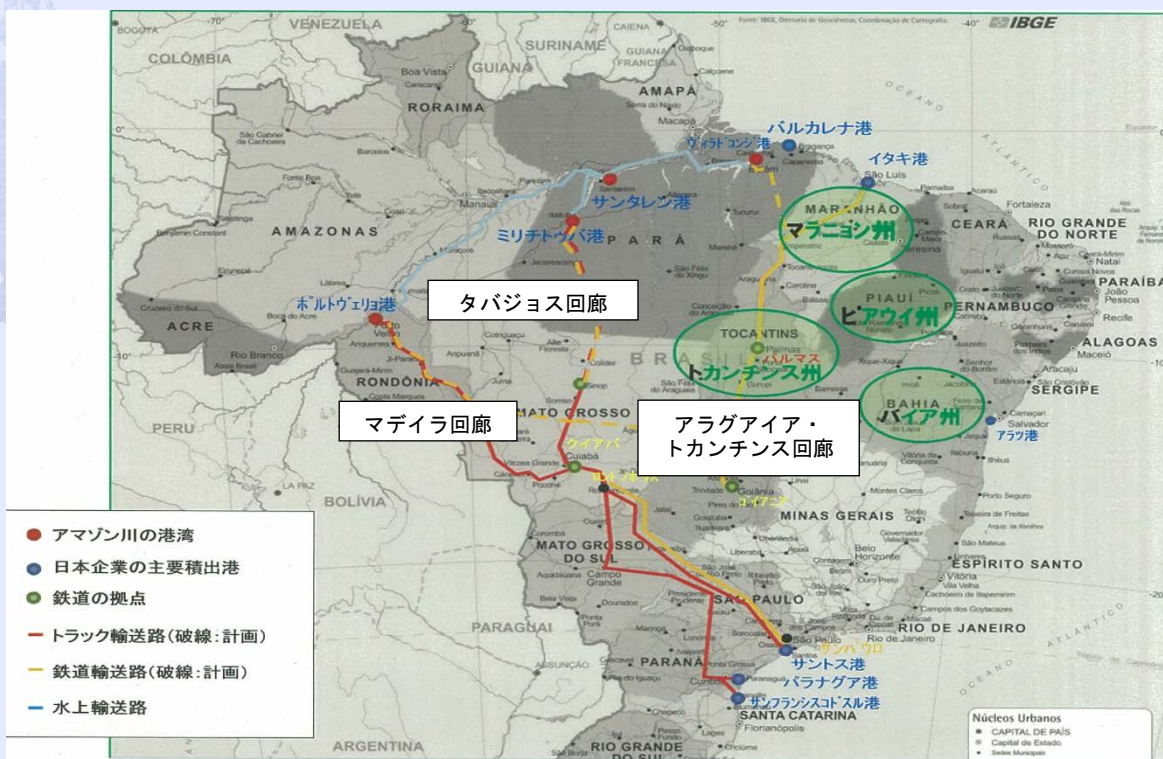
発表内容

1. 調査の目的
2. 調査の背景
3. 調査方法
4. 調査結果
5. 今後の展望



1. 調査の目的

- 北部穀物輸送インフラ改善¹⁾及びマトピバ地域²⁾農業開発に係る聞き取り調査、現地でのセミナーの実施を通じて、我が国企業のブラジル、特に今後発展が見込まれる北部を主とした業務展開促進のための情報を収集、整理する。



1) 北部穀物輸送インフラ：南部に集中する穀物輸送を解消するため示された北部の輸送3ルート、西側よりマデイラ回廊、タバジョス回廊、アラグアイア・トカンチンス回廊の道路、鉄道、港湾等のインフラ施設

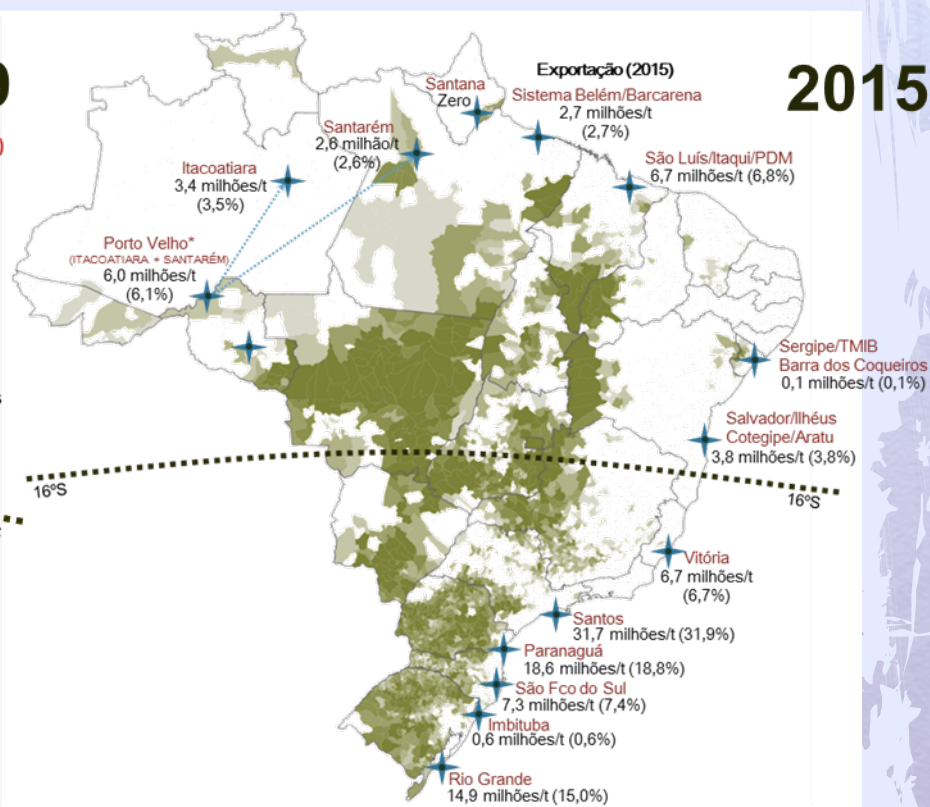
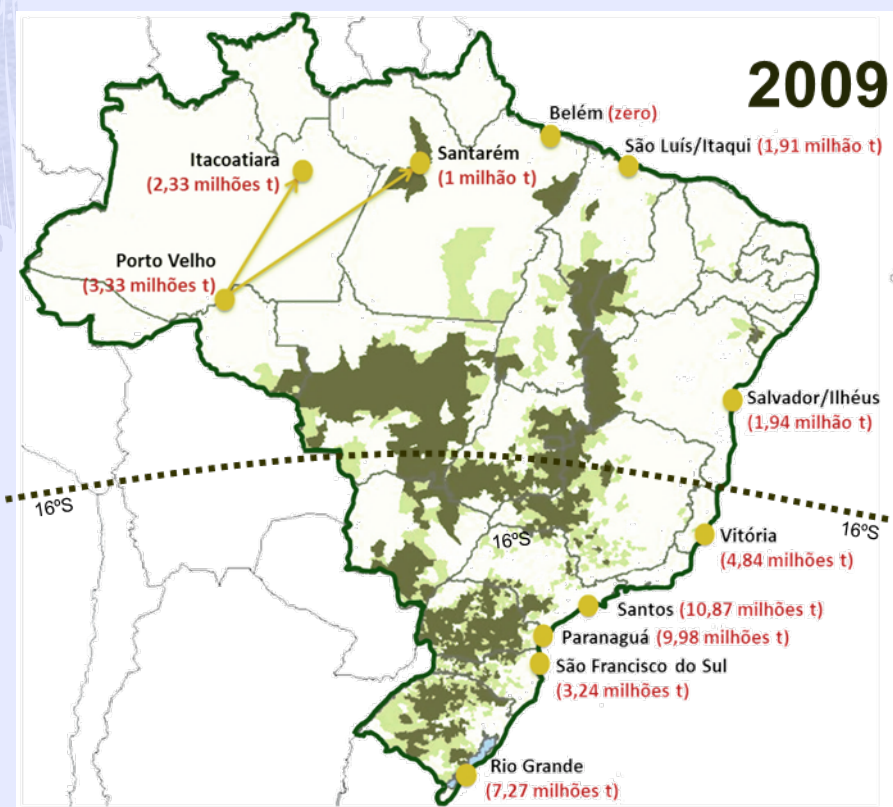
2) マトピバ地域：ブラジル北東部に位置する、マラニョン州、トカンチンス州、ピアウイ州及びバイア州4州に広がる農地を総称する名称

事業対象地域位置図（ブラジル）
農林水産省本委託事業説明資料より引用

2. 調査の背景(1)

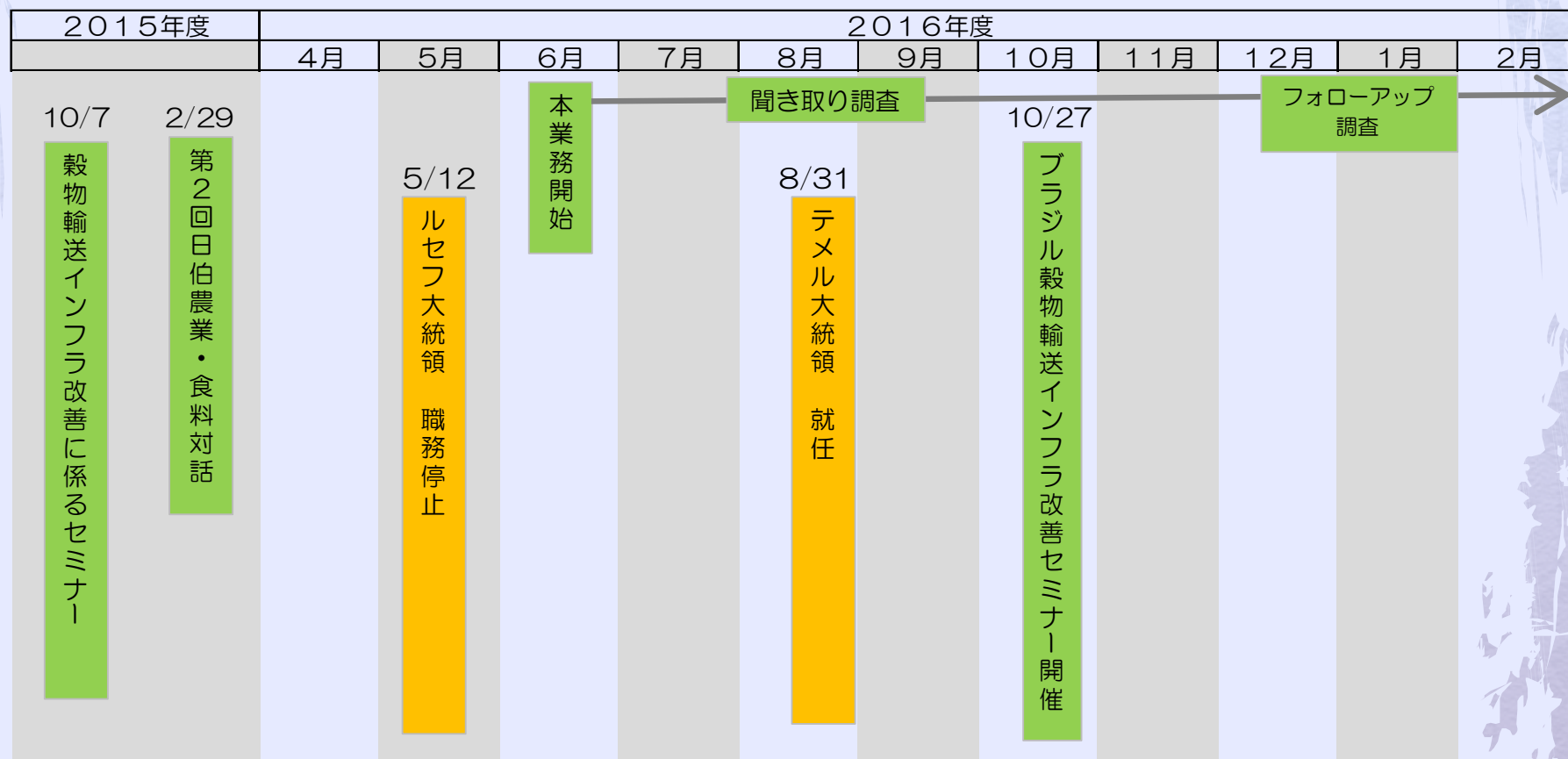
● ブラジル北部の穀物生産量と輸出量の推移

年	穀物生産量		
	ブラジル全土	南緯16° 以北	南緯16° 以南
2009	1億8百万トン	52%	48%
2015	1億8千万トン	58%	42%



2. 調査の背景(2)

- ブラジルの政治動向：本業務開始に先立ち、ルセフ前大統領の弾劾審査が開始され職務停止(5/12)となり、本業務実施中に失職(8/31)。前政権で副大統領であったテメル氏が大統領に就任した。



3. 調査方法

- 日本企業等及びブラジル連邦及び州関係機関へ、政権交代による方針変更等の有無を中心に穀物輸送インフラ改善及びマトピバ地域農業開発についての聞き取り調査を実施

【聞き取り先】

- 1) 日本関連企業：在ブラジル日本関連企業、金融機関
- 2) ブラジル連邦政府関係：農務省、運輸省、企画予算省、ブラジル農牧研究公社、国家食料供給公社、国家水運庁、大統領府港湾局
- 3) マトピバ地域各州機関：
マラニャン州（農務局、商工局、港湾管理会社）、
トカンチンス州（農務局、インフラ局、経済科学技術観光文化開発局）、
ピアウイ州（農村開発局、運輸局、経済技術開発局）、
バイヤ州（農務局、企画局、経済開発局）

- セミナーの実施

予めブラジル在日本企業へ、インフラ整備状況、税優遇措置、農業開発方針など投資環境を中心にブラジル関係機関へ明らかにしてほしいことをアンケート。その結果を基に、ブラジル側関係者を招聘し、質問・要望等に対する回答・意見交換を主旨としたセミナーを2016年10月27日にブラジリアで実施

4. 調査結果(1)

【政権交代による変更事項】

- 連邦政府、各州とも、政権交代による政策、組織等の大きな変更はないことがわかった。
- 唯一の変更点として言及されたのが「投資パートナーシッププログラム (PPI)」の創設である。PPIにより鉄道、道路、港湾、空港などのインフラ整備への民間投資参入の改善を期待する意見が多くあった。

(投資パートナーシッププログラム： Programa de Parcerias de Investimentos PPI)

- 2016年9月に、コンセッション、民営化により空港、道路、港湾などのインフラ整備事業に民間投資を呼び込むことを目的に設定。
- 入札期間の100日以上確保、環境ライセンスの事前取得などの環境リスク回避、等の特徴
- 公的金融機関からの融資枠上限の引き下げ（70%→40～50%）
- 2016年11月には暫定措置法：コンセッションの早期合意解除、再入札の実施など

4. 調査結果(2)

【北部穀物輸送インフラの整備状況】

- 道路：主要幹線の内、国道163号（タバジョス回廊）のミリチツバ港に至るまでの120kmのみが未舗装であるが、2018年には終了予定
- 鉄道：南北鉄道（アラグアイア・トカンチンス回廊）南部分、トカンチンス州パウマスからゴイアス州アナポリスまでは運営開始段階で現在入札公示待ち。アナポリスからサンパウロ州エストレラ・ド・エステまでの工事はVALEC社により95%が完成、2017年に入札予定（PPIに選定されている）
- これまで北部の農業生産物は84%が南部から輸出されていたが、2015年には20%が北部港から輸出され、南部輸送インフラへの負担軽減が図られつつある

年	大豆・トウモロコシ輸出量		
	ブラジル全土	南緯16° 以北	南緯16° 以南
2009	4千3百万トン	16%	84%
2015	9千9百万トン	20%	80%



セミナー：農務省発表資料より

ブラジル北部の穀物輸送インフラの位置図(ブラジル運輸省資料に加筆)

4. 調査結果(3)

【PPIと北部穀物輸送インフラ】

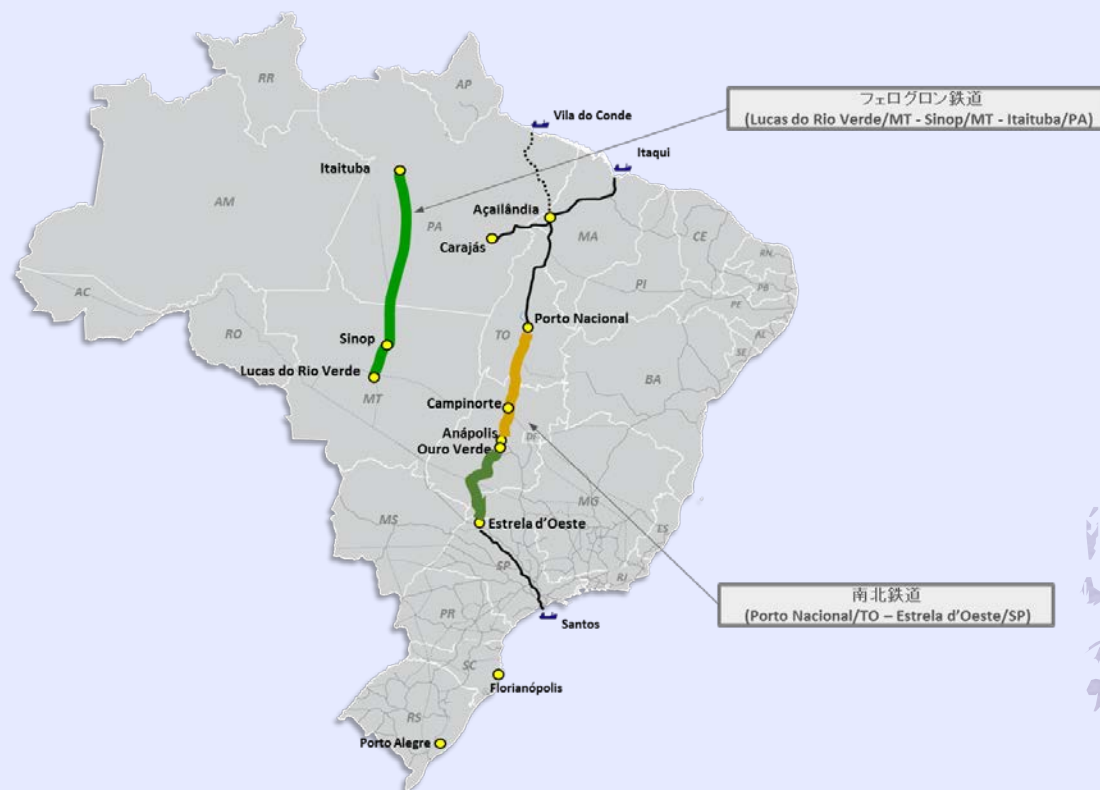
- 2016年9月現在、PPIプロジェクトとして34件が選定されている。
北部穀物インフラ関係では2つの鉄道プロジェクトが選定されている

1) 南北鉄道の南部分

(アラグアイア・トカンチンス回廊：トカンチンス州パウマス～サンパウロ州エストレラ・ド・エステ)

2) フェログロン鉄道

(タバジョス回廊：パラ州ミリチツバ～マットグロッソ州ルークス・ド・リオベルデ)

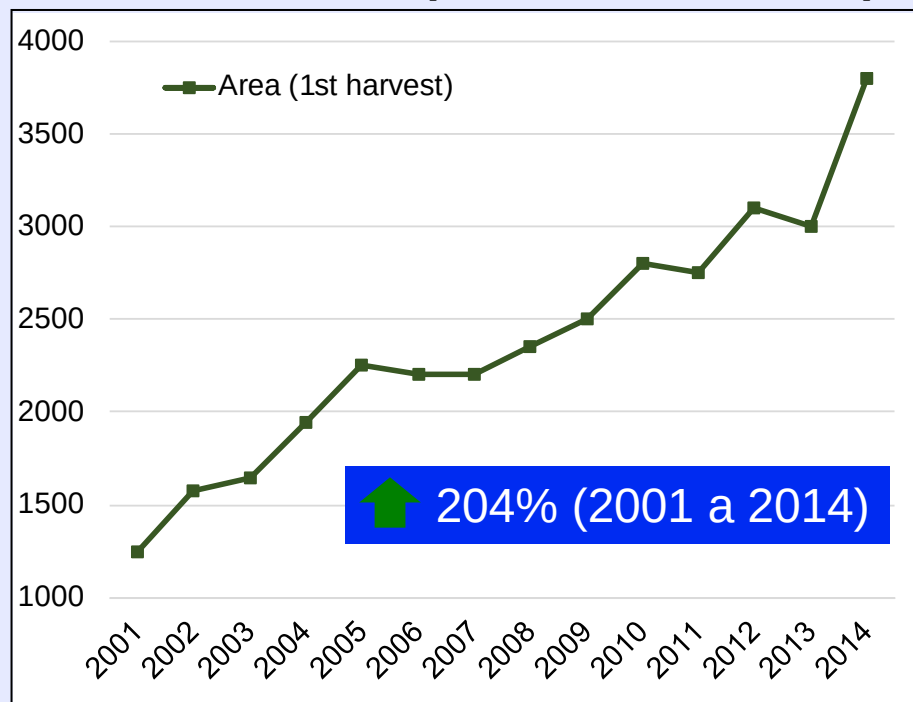


4. 調査結果(4)

【マトピバ地域農業開発：農務省の見解】

- マトピバ地域、マットグロッソ州、リオグランデ・ド・スル州など特定の地域を対象とした特別な政策はなく、ブラジル全体を考慮した政策により生産者が安心して生産できる環境を整えることが役割であり、生産活動は、生産者の意思にまかせる

Production area (thousand hectares)



Source: Conab

セミナー：農務省発表資料より

5. 今後の展望

- ブラジル北部穀物輸送関連の鉄道、道路などのインフラ整備の現状はある程度把握できた一方、PPIでの実際の入札は今年（2017年）以降に予定されており、順調に実施されるか注視する必要がある
- 最も日本企業にとって関心のある「税制」については今回セミナーでは言及が少なく、今後も引き続き関心が強いことを示していくことが重要

ありがとうございました